

# ばら剪定枝をバイオ炭化し活用する計画

八千代台まちづくり協議会 20240207

ばらを剪定すると剪定枝が出ます。剪定枝を燃やしてしまえば CO2 が排出されますが、バイオ炭化し、ばら花壇に入れますと、土壌改良材としての役割と土壌に炭素隔離ができ、カーボンニュートラルに貢献ができると思います。千葉県環境財団 県民の環境活動支援事業 令和 5 年度交付決定団体 No.29 として認められました。

事業名：バイオ炭化した剪定枝等による土壌環境改善活動

ステップ	項目 時期（予定/実施）	実施内容	写真備考/予定	
1	ばらの剪定 2023年2月11日	三角花壇、東口ロータリー及びエルム前のばら（165本）の剪定を実施した。剪定枝の量は、ボランティア袋に11袋だった。	 剪定前	 剪定後
2	剪定枝の乾燥 2023年2月19日	里山ロック隊の活動場所の一角をお借りし、乾燥を始めた。	 剪定枝 11袋	 乾燥エリアに剪定枝
3	炭化の練習 2023年6月5日	伐採竹をバイオ炭にしました。 約90Lのバイオ炭ができました。 炭化器はM100 直径98cm X 高さ34cm	 炭化器をセット	 竹を燃焼
			 炎が出なくなるまで燃焼	 水をかけてバイオ炭完成
4	剪定枝のバイオ炭化 2023年12月10日	2023年2月と8月に剪定した時に剪定枝をバイオ炭にしました。	 枝が細いので良く燃えます	 出来上がったバイオ炭
5	バイオ炭をバラ花壇に混入 2024年1月13日	ばらの植栽前にバイオ炭を花壇に混入しました。	 バイオ炭を混入	 バイオ炭を混入した花壇
6	バイオ炭の効果			

<資料1> バイオ炭の効果とクルベジ

**地球環境 国際貢献**  
大気中のCO<sub>2</sub>削減 (気候変動緩和)

**消費者メリット**  
食の安全・安心

**生産者メリット**

**バイオ炭**  
土壌炭素隔離  
重金属等の吸収抑制  
保水性・保肥性等の改良

未利用バイオマスの活用  
出典: 農研機構普及成果情報2015年より改編

地域経済活性化 里山景観維持  
バイオ炭による炭素貯留 Win-win-win  
農業生産性の向上 (持続的農業基盤)

京都 亀岡 CO<sub>2</sub>削減のために炭を畑に埋めました。その畑で育った農地炭素貯留野菜がクルベジです。農地炭素貯留を応援します。 京都銀行

藤本(2018)木質炭化学全誌 15(1)-2-7

<資料2> バイオ炭の作り方 (無煙炭化器による方法)

原理	炭化器	炭化完了